

泉佐野市水道工事設計施工監理（その１）業務

受託者選定基準

令和３年度

泉佐野市上下水道局

【受託者選定基準】

目 次

1	受託者選定基準の位置づけ	1
2	受託者選定の概要	1
1)	受託者選定の方式	1
2)	受託者選定の方法	1
3)	受託者選定の体制	1
3	優先交渉権者決定の手順	2
4	応募資格の審査	3
1)	応募資格の審査	3
ア)	応募資格審査書類の審査	3
イ)	応募資格要件の審査	3
2)	応募資格審査結果の通知	3
5	提案評価	3
1)	提案書類の確認	3
2)	提案価格の審査	3
3)	提案内容の審査	3
ア)	プレゼンテーションの実施	3
イ)	提案内容の審査	4
6	技術評価点の採点方法	4
1)	技術評価基準点	4
2)	技術評価点数配分表	4
3)	価格評価点の採点方法	4
4)	総合評価点の算定及び最優秀提案者等の選定	5
5)	優先交渉権者の決定	5
6)	審査結果の通知及び公表	5
表 5－1	技術評価基準点配分表	6

1 受託者選定基準の位置づけ

泉佐野市水道工事設計施工監理（その１）業務委託受託者選定基準（以下、「受託者選定基準」という。）は、泉佐野市水道工事設計施工監理（その１）業務委託（以下、「本業務」という。）の実施にあたって、本業務を実施する民間受託者（以下、「受託者」という。）の募集・選定を行うのに際し、選定するための方法及び評価基準等を示すものである。

2 受託者選定の概要

1）受託者選定の方式

本業務を実施する受託者には、本業務の対象施設の詳細設計、施工監理並びに制水弁操作に関する技術やノウハウが求められる。受託者の選定にあたっては、提案価格のほかに、提案価格以外の技術的な提案内容を評価する公募型プロポーザル方式を採用する。

2）受託者選定の方法

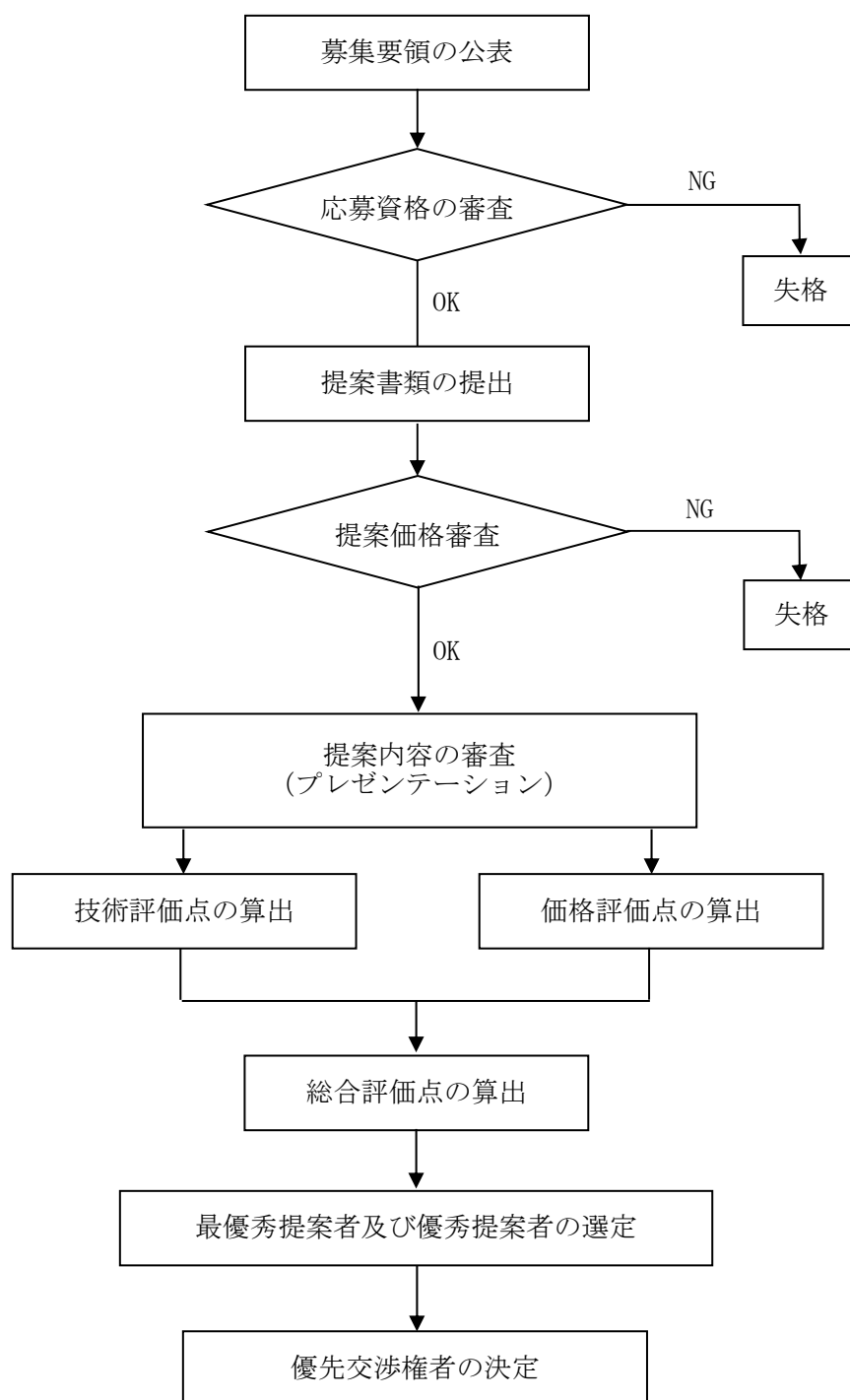
受託者の選定は、応募資格審査及び提案内容の審査により行う。応募資格審査は、応募者の参加資格について審査を行う。提案内容の審査は、審査委員会が提案価格のほか、プレゼンテーション及びヒアリング等の内容により審査する。

3）受託者選定の体制

提案内容の審査にあたっては、泉佐野市が参加資格審査を行ったうえで、泉佐野市が設置する泉佐野市水道工事設計施工監理（その１）業務委託審査委員会（以下、「審査委員会」という。）において、公平性の確保を検証し、最優秀提案者及び最優秀提案者の次に優秀な提案者（以下、「優秀提案者」という。）の選定を行い、泉佐野市は、審査委員会の選定結果を踏まえ本業務における優先交渉権者を決定する。

3 優先交渉権者決定の手順

優先交渉権者決定までの手順は、次に示すとおりである。



4 応募資格の審査

1) 応募資格の審査

ア) 応募資格審査書類の審査

泉佐野市は、本業務の応募者に求めた応募資格審査書類が全て揃っていることを確認し、審査する。書類不備の場合は失格とする。ただし、軽微な書類不備の場合は、この限りではない。

イ) 応募資格要件の審査

泉佐野市は、応募者が実施要領に記載した応募者が備えるべき応募資格要件を満たしていることを審査する。応募資格要件を1つでも満たしていない場合は失格とする。審査内容は、以下のとおりとする。

表 4-1 応募資格要件の審査内容

審査事項	審査内容
応募資格要件	実施要領 4 応募資格要件

2) 応募資格審査結果の通知

泉佐野市は、応募資格審査の結果を応募者に通知する。

5 提案評価

1) 提案書類の確認

泉佐野市は、応募者から提出された提案書類が全て揃っていることを確認する。ただし、軽微な書類不備等の場合は、この限りではないが、追加提出を求めるとともに技術評価に反映することもある。

2) 提案価格の審査

泉佐野市は、応募者が提出した提案価格が、見積上限価格以内であることを審査する。見積上限価格を超えた場合失格とする。なお、審査結果の公表は泉佐野市ホームページで公開とする。

3) 提案内容の審査

ア) プレゼンテーションの実施

審査委員会はその応募者ごとにプレゼンテーションを実施し、当該応募者に対し質疑等を行う。プレゼンテーションの概要は以下に示すとおりとし、詳細は応募者へ通知する。

① 実施時期

令和4年1月中旬

② 実施場所

泉佐野市上下水道局

③ 出席者

応募者1者あたり3名以内とする。但し、発表者は1名とする。

④ 実施時間

1者あたり60分以内とし、プレゼンテーション40分以内及び質疑等20分以内とする。

⑤ 使用機器

プレゼンテーションに必要な機器等は応募者が用意すること。

⑥ その他

非公開で実施する。

イ) 提案内容の審査

技術・価格の評価においては、応募者が提出した提案内容に対して審査項目及び配点に基づき得点化（以下、「技術評価点・価格評価点」という。）を実施する。

審査項目及び配点は、別紙表5-1 技術評価基準点配分表のとおりとする。

6 技術評価点の採点方法

1) 技術評価基準点（75点満点）

技術評価基準点数配分表に基づき、提案書の内容並びにプレゼンテーション及び質疑等の内容により評価とする。

2) 技術評価点数配分表

提案書の記述内容及びプレゼンテーションの内容を別紙の技術評価点数配分表の項目及び評価内容に当てはめて評価すること。なお、別紙の技術評価点数配分表の項目等に当てはめにくい、もしくは、当てはまらない内容については、最も近いと思われる項目に含めて評価すること。

3) 価格評価点の採点方法（25点満点）

ア) 見積書及び提案価格内訳書の提出がない者は失格とする。

イ) 提案見積書には上限額を設けており、上限額を超える提案見積書は無効（0点）とする。

ウ) 価格評価算出方法

有効な見積書（見積金額が上限額超過を除く）のうち、次の算式により算出する。

《算式》 価格評価点＝満点（25点）×（最低見積額÷見積提案価格）

※小数点第2位以下四捨五入

エ) 提案見積書及び積算内訳書は、審査委員会の事務局が事前に開封するとともに内容が適正かどうかを確認し、不適正な場合はプレゼンテーション実施時又は個別ヒアリング時に適正かどうかを確認する場合がある。

4) 総合評価点の算定及び最優秀提案者等の選定

ア) 総合評価点の算定

各応募者について、技術評価点及び価格評価点を合計し、総合評価点（100点満点）を算出する。

イ) 最優秀提案者等の選定

各応募者の総合評価点が最も高い提案を最優秀提案とし、最優秀提案者に選定する。また、最優秀提案の次に優秀な提案を優秀提案とし、優秀提案者に選定する。ただし、総合評価点が高点の場合は、技術評価点が高点の提案を最優秀提案として選定する。技術評価点も同点の場合は、技術評価点のうち「(1) 提案の的確性」が高点の提案を最優秀提案として選定する。なお、以上により優劣が決定できない場合は、くじ引きにより最優秀提案者を決定する。

5) 優先交渉権者の決定

泉佐野市は、審査委員会より選定された最優秀提案者を本業務の優先交渉権者に、優秀提案者を次点交渉権者に決定する。ただし、本業務に対する応募者が1者のみであった場合は、募集要綱の規定により優先交渉権者のみを決定する。このとき、応募者の技術評価点が60点以上の場合を優先交渉権者とする。

6) 審査結果の通知及び公表

泉佐野市は、審査委員会における審査及び選定の結果を取りまとめて、応募者に対して書面にて通知するとともに、泉佐野市上下水道局ホームページで公表する。優先交渉権者と次点交渉権者への書面通知には、優先交渉権者であること、次点交渉権者であることを明記する。なお、電話等による問い合わせには応じない。

表 5-1 技術評価基準点配分表

		総 点	個別 点	評価内容	評価の視点	最大 点	
技術等評価	業務実施体制		10	10	適正に履行ができる体制、指揮命令系統、適切な人員の配置	業務達成までの工程管理、機動力、設計精度	5
					輻輳する業務の執行に現実性があるか等	特に工事において集中する期間への対応力	5
	業務実績	(その1)	25	5	過去10年間の同種業務の実績	実績件数	5
		(その2)		5	管理技術者に関する資格・実績	資格内容・実績件数	5
		(その3)		5	担当技術者（設計積算）に関する実績	資格内容・実績件数	5
		(その4)		5	担当技術者（施工監理）に関する実績	資格内容・実績件数	5
		(その5)		5	担当技術者（制水弁等操作）に関する実績	資格内容・実績件数	5
	業務提案	(その1)	30	10	設計積算に関する提案	設計・積算実施時の注意点	5
							5
		(その2)		10	施工監理に対する提案	施工監理実施時の注意点	5
							5
		(その3)		10	制水弁操作に関する提案	制水弁等操作実施時の注意点	5
		5					
	危機管理体制		10	10	個人情報・情報セキュリティに関する業務提案	公的認証の有無	6
						社内規定の有無	2
						研修の有無	2
価格評価		25	25	見積金額の評価	上限額を下回る提案価格の評価	25	
合計		100	100				